

第 11 回
「就職したい企業・業種ランキング」
調査

2025 年5月
あなたの会社の **e**-審査部
リスクモンスター株式会社
<https://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第 11 回「就職したい企業・業種ランキング」調査

2. 調査方法

インターネット調査

3. 調査エリア

全国

4. 期間

2025 年3月4日(火)～2025 年3月 10 日(月)

5. 調査対象者

2026 年3月卒業予定の大学3年生男女個人

6. 調査対象企業と選定方法

各業界の大手企業・組織 200 社を抽出

7. 有効回収数

334 サンプル

8. 回答者の属性

性別・文理別

	文系	理系	合計
男性	84	54	138
女性	83	113	196
合計	167	167	334

地域

北海道	東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	合計
16	30	157	43	48	18	22	334

※地域は、現在の所在地を集計

1. 調査結果

[1] 「就職したい企業・業種ランキング」／ランキング結果、選択理由

「就職したい企業・業種ランキング」のランキング1位は、「地方公務員」(回答率 10.8%)であった。次いで「国家公務員」が2位(同 6.9%)、「三井住友銀行」が3位(同 3.0%)となり、4位は「味の素」、「三菱ケミカル」、「任天堂」(同各 2.4%)が同率となった。

業種としては、化学工業(三菱ケミカル、旭化成、富士フイルム)、公務(地方公務員、国家公務員)、飲食料品製造業(味の素、日清食品)、電気機器製造業(ソニー、日立製作所)、鉄道業(東日本旅客鉄道(JR 東日本)、西日本旅客鉄道(JR 西日本))、銀行業(三井住友銀行、三菱 UFJ 銀行)がトップ 20 内に複数ランクインしている。

本調査においては、前回調査からのランク変動が大きく、トップ 20 のうち約半数が前回から入れ替わっている。他方で、「地方公務員」と「国家公務員」が7年連続でトップ2を堅持している点や、鉄道業2社(東日本旅客鉄道(JR 東日本)、西日本旅客鉄道(JR 西日本))が継続してランクインしている点からは、公務員や鉄道業における安定した人気がうかがえる。(図表A)

就職したい企業の選択理由を自由回答で尋ねたところ、1位「地方公務員」、2位「国家公務員」では、「安定している」、「地元・国に貢献したい」という意見のほかに、自身の夢の実現に関する回答が多く見られた。トップ 20 内の民間企業においては、「有名だから」、「憧れがあるから」、「商品やサービスに興味・馴染みがあるから」といった意見などが見られ、企業の知名度やイメージ、商品・サービスへの興味等が就職希望に繋がっている様子が読み取れる。(図表B)

[2] 「就職したい企業・業種ランキング」／文理・男女比較

就職したい企業を文系・理系別に集計したところ、前回調査から引き続き、文系・理系ともに「地方公務員」(回答率 文系 14.4%、理系 7.2%)、「国家公務員」(同 文系 7.2%、理系 6.6%)がトップ2を占めた。

文系と理系の両方にランクインした企業は公務員を除くと2社に留まっており、理系では化学工業や製造業など、自身が大学で学んだ知識を活かせる専門性の高い業種が多いのに対して、文系の方が多様な業界にわたっており、その傾向に大きな差が表れている。(図表C)

男女別において、男女ともにランクインしているのは「地方公務員」、「国家公務員」、「三井住友銀行」の3つのみであり、男性では機械系の製造業や鉄道業が多いのに対して、女性では食料品製造業が上位に目立っているなど、違いが表れている。(図表D)

[3] 「就職したい企業・業種ランキング」／業種別

就職したい業種について集計したところ、1位「公的機関・その他」(回答率 25.7%)、2位「IT・情報通信」(同 9.9%)、3位「金融・法人向けサービス」、「生活用品・サービス」(同各 5.4%)となり、上位3業種は前回順位から変動は見られない。(図表E)

[4] 「就職したい企業・業種ランキング」／就職先選定において気になる点

就職先の選定において気になる点について調査したところ、1位「勤務地」(回答率 32.6%)、2位「給与額」(同 32.3%)、3位「福利厚生」(同 30.5%)となった。今回調査においては、「勤務地」

が、第3回調査から不動の1位であった「給与額」を上回り1位になった点が大きな特徴といえ、社会人生活をどの地域で過ごすのかが重視されている様子がうかがえる。(図表F)

[5] 「就職したい企業・業種ランキング」／就職活動状況

理想の就職活動開始時期について調査したところ、「大学3年生前期」(回答率35.9%)が最も多く、「大学1、2年生」(同 31.1%)と合わせると、約7割の学生が就業の1年半以上前に開始することを理想として捉え、実際に全体の過半数が大学3年生前期以前に就職活動を開始していることがわかった。

また、理想の内定希望時期としては、「大学4年生前期」(同 39.8%)と「大学3年生後期」(同 32.3%)で7割超を占めており、卒業の半年以上前には就職活動を終えたい意向が読み取れる。(図表 G)

さらに、理想通りに「大学3年生前期」までに就職活動を開始した学生においては、9割以上が内々定を獲得していることもわかった。(図表 H)

2. 総評

厚生労働省が発表した 2024 年の平均有効求人倍率は 1.25 倍となっており、依然として「売り手市場」が継続している就職活動において、学生がどのような意識で就職活動に臨んでいるのかを調査したのが、「就職したい企業・業種ランキング」である。

今回調査では、「地方公務員」と「国家公務員」が7年連続でのトップ2となっており、安定性を重視する志向が根強く続いている。公務員以外の業種としては、鉄道業や銀行業、食品製造業などが前回に続きトップ 20 にランクインした。

また、就職先選定において気になる点では、「勤務地」が、これまで長期にわたり1位であった「給与額」を上回り、1位となった点が大きな特徴といえ、公務員志望者の企業選択理由において代表される「地域貢献」など、地元意識の志向が、勤務地を重視する傾向に影響を与えているものと推察される。

さらに、学生の就職活動において、理想的な開始時期は「大学1、2年生」～「大学3年生前期」までが多く、卒業の半年以上前には就職活動を終えたいという意向に対して、実際に理想の時期までに就職活動を行っている学生は、9割以上が内々定を獲得している状況が明らかとなった。

近年は、大学3年生以下を対象に、就業体験を建前とする企業インターンシップが多数開催されているが、多くの企業において採用活動の一環として行われているため、結果として就職活動の早期化につながっているといわれている。就職活動の早期化は、学生にとっては十分な準備期間を活用して、企業研究や、自身のキャリア観、働き方に対する理解を深める好機となり得るが、学生の本分である学業が疎かになるようでは本末転倒である。

企業に対しては、採用活動のトレンドを考慮しつつも、自社都合のみを優先することなく、適切な時期・方法にて、学生に自社での就業イメージを正しく持つてもらい、その結果、多くの学生から選ばれるようになることを求めたい。

図表A 第11回「就職したい企業・業種ランキング」／ランキングトップ20

(n=334／複数回答)

順位		変動	企業名	都道府県	業種	回答率
今回	前回					
1	1	→	地方公務員	-	公務	10.8%
2	2	→	国家公務員	-	公務	6.9%
3	10	↗	三井住友銀行	東京都	銀行業	3.0%
4	16	↗	味の素	東京都	食料品製造業	2.4%
4	-	↗	三菱ケミカル	東京都	化学工業	2.4%
4	16	↗	任天堂	京都府	玩具等製造業	2.4%
7	84	↗	花王	東京都	化粧品製造業	2.1%
7	38	↗	旭化成	東京都	化学工業	2.1%
7	29	↗	富士フィルム	東京都	化学工業	2.1%
7	3	↘	ソニー	東京都	電気機械器具製造業	2.1%
7	10	↗	東日本旅客鉄道(JR東日本)	東京都	鉄道業	2.1%
7	7	→	西日本旅客鉄道(JR西日本)	大阪府	鉄道業	2.1%
13	141	↗	日立製作所	東京都	電気機械器具製造業	1.8%
13	10	↘	トヨタ自動車	愛知県	自動車製造業	1.8%
13	6	↘	NTTデータ	東京都	情報サービス業	1.8%
13	84	↗	大和証券	東京都	証券会社	1.8%
17	5	↘	グーグル(Google)	東京都	インターネット付随サービス業	1.5%
17	50	↗	日清食品	東京都	食料品製造業	1.5%
17	62	↗	大塚製薬	東京都	医薬品製造業	1.5%
17	50	↗	伊藤忠商事	東京都	各種商品卸売業	1.5%
17	50	↗	三菱UFJ銀行	東京都	銀行業	1.5%
17	38	↗	オリエンタルランド	千葉県	娯楽業	1.5%

図表B 第11回「就職したい企業・業種ランキング」／ランキングトップ20 選択理由

順位	企業名	選んだ理由	性別・文理
1	地方公務員	教員希望	女性・文系
1	地方公務員	先生になりたい	男性・文系
1	地方公務員	地元に住むから	女性・理系
1	地方公務員	地域の役に立ちたいから	女性・文系
1	地方公務員	市民のために働きたいから	男性・文系
1	地方公務員	元々公務員志望のため	男性・文系
1	地方公務員	地域密着で心理職として働きたいから	女性・文系
1	地方公務員	勉強すれば受かると思うから	男性・文系
1	地方公務員	福利厚生が厚い	女性・文系
1	地方公務員	人の役に立ちたいから	女性・文系
1	地方公務員	地元が好きで安定したのが良い	男性・文系
1	地方公務員	地域に貢献できるから	女性・理系
1	地方公務員	小学校の先生に昔からなりたい	男性・文系
1	地方公務員	安定しているから	女性・理系
1	地方公務員	社会的地位が高いから	男性・文系
1	地方公務員	公立中学校の教師を目指しているから	男性・文系
1	地方公務員	学部が教育学部だから	男性・文系
2	国家公務員	安定していて老後も安心だから	女性・文系
2	国家公務員	キャリアが安定しているから	男性・理系
2	国家公務員	給料の安定	女性・理系
2	国家公務員	大学教授になりたいから	女性・理系
2	国家公務員	教育に関わる仕事がしたいと思ったからです	男性・文系
2	国家公務員	やりたいことがあるから	男性・文系
3	三井住友銀行	馴染みがあるから	女性・文系
3	三井住友銀行	金融業界で安定感のあるイメージだから	男性・文系
4	任天堂	大手で有名だから	男性・理系
4	任天堂	開発に携わりたい	男性・文系
4	任天堂	ゲームが好きだから	女性・理系
4	味の素	ホワイト企業だから	女性・文系
4	味の素	働き方が自由	男性・文系
7	ソニー	仕事が魅力的だから	男性・文系
7	ソニー	給料がいいから	女性・理系
7	ソニー	世界で戦いが出来る	男性・理系
7	旭化成	化学メーカーとして優秀な企業だから	女性・理系
7	旭化成	自分の研究分野を活かせそうだから	女性・理系
7	旭化成	化学系に就きたいからです	男性・理系
7	花王	カッコいい	男性・理系
7	西日本旅客鉄道 (JR西日本)	旅行会社系の就職も検討しているため	男性・文系
7	西日本旅客鉄道 (JR西日本)	幼少期からの憧れであり、ずっと働きたいと思っているから	男性・文系
7	西日本旅客鉄道 (JR西日本)	身近な企業であり、軸とあってると何となく感じる	男性・文系
7	東日本旅客鉄道 (JR東日本)	鉄道に興味があるから	男性・文系
7	東日本旅客鉄道 (JR東日本)	多角的な事業をやってるから	男性・文系
13	NTTデータ	IT系っぽい	女性・文系
13	トヨタ自動車	高収入だから	男性・理系
13	大和証券	いいとおもったから	女性・理系
13	日立製作所	事業が幅広く、経営が安定しているから	男性・理系
13	日立製作所	信頼できる	男性・文系
17	三菱UFJ銀行	最先端技術を用いているから	女性・理系
17	大塚製薬	地元に根付いている大企業だから	男性・理系
17	大塚製薬	大塚製薬の理念に強く共感し、働きたいと感じたから	女性・理系
17	オリエンタルランド	ディズニーで働きたいから	女性・文系
17	オリエンタルランド	人々の真のしあわせとは何かを考え、実現したいから	男性・文系

図表C 第11回「就職したい企業・業種ランキング」／文理別ランキング

文系 (n=167)			理系 (n=167)		
順位	就職先	回答率	順位	就職先	回答率
1	地方公務員	14.4%	1	地方公務員	7.2%
2	国家公務員	7.2%	2	国家公務員	6.6%
3	三井住友銀行	3.6%	3	旭化成	4.2%
3	味の素	3.6%	4	三菱ケミカル	3.6%
5	東日本旅客鉄道(JR東日本)	3.0%	4	富士フイルム	3.6%
5	西日本旅客鉄道(JR西日本)	3.0%	6	花王	3.0%
7	任天堂	2.4%	6	大塚製薬	3.0%
7	トヨタ自動車	2.4%	8	三井住友銀行	2.4%
7	大和証券	2.4%	8	任天堂	2.4%
7	Google	2.4%	8	ソニー	2.4%
7	伊藤忠商事	2.4%	8	日清食品	2.4%
7	日本マイクロソフト	2.4%	8	東レ	2.4%
7	キーエンス	2.4%	8	クラレ	2.4%
			8	しまむら	2.4%

※背景色有りは、文系・理系で共通している企業

図表D 第11回「就職したい企業・業種ランキング」／男女別ランキング

男性 (n=138)			女性 (n=196)		
順位	就職先	回答率	順位	就職先	回答率
1	地方公務員	10.1%	1	地方公務員	11.2%
2	国家公務員	5.8%	2	国家公務員	7.7%
3	三井住友銀行	4.3%	3	花王	3.1%
3	三菱ケミカル	4.3%	4	味の素	2.6%
3	任天堂	4.3%	5	三井住友銀行	2.0%
3	西日本旅客鉄道(JR西日本)	4.3%	5	旭化成	2.0%
3	トヨタ自動車	4.3%	5	日清食品	2.0%
8	東日本旅客鉄道(JR東日本)	3.6%	5	大塚製薬	2.0%
9	富士フイルム	2.9%	5	オリエンタルランド	2.0%
9	ソニー	2.9%	5	山崎製パン	2.0%
9	NTTデータ	2.9%	5	住友商事	2.0%
9	Google	2.9%	5	しまむら	2.0%
9	明治	2.9%			
9	富士通	2.9%			
9	キーエンス	2.9%			
9	サイバーエージェント	2.9%			

※背景色有りは、男女で共通している企業

図表E 第11回「就職したい企業・業種ランキング」／就職したい業種ランキング

(単一回答)

順位	業種	全体		文系 n=167	理系 n=167	男性 n=138	女性 n=196
		今回 n=334	前回				
1	公的機関・その他 (公務員、JA、士業など)	25.7%	26.6%	26.9%	24.6%	25.4%	26.0%
2	IT・情報通信 (IT情報サービス、通信サービスなど)	9.9%	9.1%	8.4%	11.4%	13.0%	7.7%
3	金融・法人向けサービス (銀行、証券、クレジット、保険など)	5.4%	7.0%	7.8%	3.0%	6.5%	4.6%
3	生活用品・サービス (医薬品、化粧品、スポーツ用品など)	5.4%	5.5%	2.4%	8.4%	1.4%	8.2%
5	エネルギー・資源・素材 (石油、電力、ガス、鉄鋼、化学、繊維、紙など)	4.8%	2.3%	3.0%	6.6%	7.2%	3.1%
6	電機・精密 (白物家電、パソコン、電子部品など)	4.5%	3.4%	3.6%	5.4%	5.8%	3.6%
6	食品・農業 (食品、飲料、農産物など)	4.5%	5.7%	3.0%	6.0%	2.9%	5.6%
6	運輸・物流 (鉄道、空運、海運、陸運など)	4.5%	3.8%	6.6%	2.4%	6.5%	3.1%
9	小売・外食 (コンビニ、家電量販店、スーパー、百貨店、アパレル、外食など)	3.9%	2.7%	4.8%	3.0%	3.6%	4.1%
10	メディア (広告、新聞、新聞、出版、印刷など)	3.6%	1.7%	7.2%	0.0%	2.9%	4.1%
11	エンタメ・レジャー (音楽、映画、ゲーム、パチンコ、旅行、ホテル、テーマパークなど)	3.3%	3.8%	4.2%	2.4%	5.1%	2.0%
12	建設・不動産 (建設、不動産、建材など)	3.0%	4.9%	2.4%	3.6%	2.2%	3.6%
13	自動車・重機械 (自動車、自動車部品、二輪車など)	2.7%	3.4%	2.4%	3.0%	5.1%	1.0%
14	卸売 (総合商社、専門商社)	0.9%	1.3%	0.6%	1.2%	0.0%	1.5%

※背景色有りは、上位3項目

図表 F 第11回「就職したい企業・業種ランキング」／就職先選定において気になる点

(複数回答)

順位	気になる点	全体		文系 n=167	理系 n=167	男性 n=138	女性 n=196
		今回 n=334	前回				
1	勤務地	32.6%	23.9%	38.3%	26.9%	33.3%	32.1%
2	給与額	32.3%	52.0%	34.1%	30.5%	34.8%	30.6%
3	福利厚生	30.5%	36.6%	31.7%	29.3%	26.8%	33.2%
4	企業の規模	14.1%	—	14.4%	13.8%	18.1%	11.2%
5	残業時間	12.3%	25.4%	13.2%	11.4%	15.2%	10.2%
6	雇用形態(正社員／契約社員など)	11.7%	26.8%	9.0%	14.4%	13.8%	10.2%
7	有休の取得しやすさ	10.2%	—	9.0%	11.4%	7.2%	12.2%
8	教育・研修制度	8.1%	12.7%	6.6%	9.6%	5.8%	9.7%
9	職種(ホワイトカラーorブルーカラー)	6.3%	8.7%	7.8%	4.8%	2.9%	8.7%
10	残業代の有無	6.0%	—	5.4%	6.6%	8.0%	4.6%
11	働き方改革への取り組み状況	5.7%	—	6.0%	5.4%	5.8%	5.6%
11	労働時間の規則性(定時orフレックス)	5.7%	—	5.4%	6.0%	8.0%	4.1%
13	人事評価制度	5.4%	—	2.4%	8.4%	5.1%	5.6%
14	転勤や異動の頻度	5.1%	8.9%	6.6%	3.6%	5.8%	4.6%
15	離職率	4.5%	8.2%	2.4%	6.6%	4.3%	4.6%
16	企業の業績	4.2%	—	4.2%	4.2%	5.8%	3.1%
17	ノルマの有無	3.3%	5.9%	4.2%	2.4%	2.9%	3.6%
18	社内イベント・飲み会の頻度	3.0%	3.4%	3.0%	3.0%	4.3%	2.0%
18	育児・介護休業のしやすさ	3.0%	—	2.4%	3.6%	1.4%	4.1%
20	勤務形態(出社orオンライン)	2.7%	—	3.6%	1.8%	2.2%	3.1%
21	コンプライアンスへの取り組み状況	2.1%	—	1.8%	2.4%	1.4%	2.6%
22	事件・事故の有無	0.6%	—	0.6%	0.6%	0.0%	1.0%
22	副業が可能か	0.6%	—	0.0%	1.2%	0.7%	0.5%

※背景色有は、上位3項目

図表G 第11回「就職したい企業・業種ランキング」／理想の就職活動開始希望時期・内定希望時期

(n=334／単一回答)

No.	学年	就職活動開始希望時期		内定希望時期		実際の就職活動開始時期	
		今回	前回	今回	前回	今回	前回
1	大学1、2年生	31.1%	20.1%	3.9%	1.7%	9.9%	19.9%
2	大学3年生前期	35.9%	40.4%	3.0%	4.4%	44.6%	25.4%
3	大学3年生後期	15.9%	27.3%	32.3%	24.1%	22.8%	20.7%
4	大学4年生前期	11.4%	8.0%	39.8%	52.6%	22.7%	28.3%
5	大学4年生後期	5.7%	3.8%	21.0%	15.9%		

※背景色有りは、上位1項目

図表H 第11回「就職したい企業・業種ランキング」／就職活動開始時期別 就職活動進捗状況

(n=334／複数回答)

No.	実際の就職活動開始時期	全体	内々定を取得している企業が1社以上ある	採用面接に進んでいる企業が1社以上ある	インターンシップに参加している	OB・OG訪問を実施したことがある	企業説明会に参加している	自己分析、業界・企業研究をしている
1	大学1、2年	9.9%	14.3%	13.8%	13.3%	13.2%	8.5%	8.2%
2	大学3年生 4月～6月	26.6%	50.0%	44.6%	40.8%	31.6%	38.3%	36.5%
3	大学3年生 7月～9月	18.0%	27.1%	30.8%	27.6%	36.8%	31.9%	30.6%
4	大学3年生 10月～12月	7.2%	4.3%	6.2%	6.1%	10.5%	6.4%	8.2%
5	大学3年生 1月～3月	15.6%	2.9%	4.6%	8.2%	2.6%	12.8%	14.1%
6	大学4年生	22.8%	1.4%	0.0%	4.1%	5.3%	2.1%	2.4%

※2025年3月時点での就職活動進捗状況

※背景色有りは、上位1項目